

偉人に学ぶリーダーシップの極意（戦国武将編）～人の上に立つものに求められる覚悟とは～

■想定する対象者

- ✓ 社員の自主性をなかなか引き出せない方
- ✓ 社員と意思疎通がなかなか取れていない方
- ✓ 理想のリーダー像を探求している方

■提供する価値・伝えたい事

- ▷ 社員が主体的に動き出そうとする
- ▷ 慕われるコミュニケーションが取れるようになる
- ▷ リーダーとしてのアイデンティティが見えてくる

■内容

- (1) 『一夜城』はなぜ実現できたのか？
 - ▶ 秀吉を支えた武将「蜂須賀小六」
 - ▶ 秀吉に学ぶ「部下を〇〇させる3つの条件」
- (2) 武将に学ぶ相手のこころの掴み方
 - ▶ 家康の人心掌握術「絶妙な〇〇方」
 - ▶ 天下布武への道 信長の「〇〇」力
- (3) リーダーの「自立」と「覚悟」
 - ▶ 「誰が組織をつぶすのか」：曹操孟徳
 - ▶ 「信頼する部下を斬る」：諸葛亮孔明のマネジメント
- (4) まとめ

■聴講者の感想

- 命がけの意志決定。歴史から学ぶことがとても多かったです。家康の人心掌握術は印象深かったです。少しずつですが社員育成で試していきます。（教育・学習支援業 経営者）
- 今までとは違う切り口から歴史を学べてとても楽しい時間でした。正しい情報が上がってくる上司になれるよう、努力が必要です。（情報通信業 取締役）
- 何のためにこの仕事をしているのか？と問いかける有意義な時間でした。（建設業 経営者）